



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 6 年 9 月 号
令和 6 年 8 月 2 8 日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

「成長すること」の尊さ

校長 小田切 倫子

今年、地震や台風、豪雨、落雷など、自然災害がたくさん発生しました。皆様の御家族や御親戚等は大丈夫でしたでしょうか。大変心配しております。そして、今年もまた、本当に暑い暑い夏でしたね。体を感じる暑さはもちろんですが、心を熱く燃やしてくれたのが、パリ2024オリンピック！連日、様々な競技で繰り広げられる熱戦にくぎ付けとなり、ついつい夜更かしをして見入ってしまいました。皆さんは、どのようなことが印象に残りましたでしょうか。国の代表として、大きな期待を受けての試合ですから、相当な重圧を背負いながらの戦いだったことでしょうか。全神経を集中させ、チャンスの時もピンチの時も、果敢に相手に立ち向かう姿。チームが互いを信じ合い、全力で励まし合いながら試合をつなぐ姿。選手たちの真剣な気持ちに自分の気持ちを重ね、一喜一憂しながら、祈るような思いで見つめていました。そして、試合に勝った時の喜び、負けてしまった時の悔しさを、画面の前で共感させていただきながら、たくさんの感動を受け取りました。

世界的なスポーツの祭典であるオリンピックに出場するような選手の皆さんですから、想像を絶するような努力を重ねてきたことでしょうか。その競技を始めたきっかけや背景・環境は、一人ひとり違います。でも、誰しもが順風満帆な時ばかりではなく、目の前に立ちだかる壁を一つ一つ乗り越えながら、晴れの舞台への切符を手に入れたであろうストーリーに思いを馳せながら観戦するからこそ、感動は大きいのだと思います。また、時折映る、選手を様々な形で支えてきた家族や指導者、仲間といった、周囲の人々の思いも感じながら観戦するからこそ、心が震えるのだと思います。さらには、メンバーとして帯同したものの実際の試合には出られなかった選手、惜しくもわずかな差でオリンピック出場という夢が果たせなかった選手、それらの選手の周辺の人々の思い…、そのような、世界各国のたくさんの人々に展開されたであろう数々のドラマを考えると、オリンピックはますます意義深いものを感じられます。そういった視点で改めてオリンピックを考えると、本当にすばらしいのは、『オリンピックに出場したこと』や『メダルを取ったこと』といった“結果”ではなく、その“過程”にあることに気付かされます。オリンピック出場を果たした選手・目指した選手、それを支えた周辺者、それぞれがそれぞれの立場で今よりさらによりよくしようとする「成長」を目指したことに、大きな価値があるのだと考えます。オリンピックは、「スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的」としています（東京都オリンピック・パラリンピック競技大会ホームページより）。オリンピックに出場してメダルを獲得することは大きな『目標』ではありますが、『目的』ではないのです。この大切なオリンピックの理念を、様々なシーンから、たくさん感じ取ることができました。そして、私自身も自分なりの立場として、これからも努力をしていこうという大きな勇気を受け取ることができた、そんなパリ2024オリンピックとなりました。

さて、今日から2学期とともにパラリンピックが始まります。本校では、地域の方の御縁により、1学期、車いすバスケットボールに出場する財満いずみ選手へ、4年生以上の児童から応援メッセージを贈らせていただきました。そのため、パラリンピックをこれまで以上に身近に感じ、とても楽しみにしています。そのような思いを子どもたちと共有しながら、下落合小学校は2学期もまた、更なる「成長」を目指してまいりたいと思っております。皆様の御理解と御支援を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。